

左ノ通り

記

一 事業主側

半議發生以來出勤職工日毎ニ減少シ出勤職工僅ク八名ニ減少  
セルヲ以テ七月一日職工ニ付シ出勤報告状ヲ郵送シタルニ二  
日ニハ二十三名ノ出勤者アリ半議ヲ作意ヲナシ居ル状態ナル  
カ四日半議團ニ加入シ出勤中ノ二十名ヲ解雇セリ

二 労働者側

労働者側ハ本月三日水田行ニシテ修繕ヲ訴フト願タル印創物約  
三千枚ニ會社附近ノ民家ニ配布シ同情ヲ求メ又本日四日警察  
町宮仲 業島亭ニ於テ説評演説會ヲ開催シ氣勢ヲ示シテリ  
又申(通)紙假也

勞使第二八〇號

昭和六年七月十三日

警視總監 高橋 宇雄

内務大臣 安達 謙藏 殿  
社會局長 長 官 殿

水田入りマ大楸楸株式會社ノ勞働爭議ニ關スル件 (第五株)

要旨 本事業主側ハ態度依然トシテ修繕ナシ爲メ爭議團側ハ事業主其他  
事係有私定ノ旨同シテアリテ會面會ヲ強要セル團員ニ若檢束サル

標記勞働爭議ノ旨、後ノ経過左記ノ通り

記

一 事業主側

6. 7. 20  
2728